

Our slogan

最善の医療を尽くし地域とともに
安心・安全を未来へつなぐ赤十字。

救う
SAVE

高知の救急・
災害救護の医療拠点

24時間体制の「断らない医療」で、あらゆる
医療現場の最前線に挑みます。懸念される
南海トラフ巨大地震や台風などの自然災害
に備え、積極的な救護活動に取り組みます。



守る
PROTECT

いのち・人生に
寄りそう最善の医療

最新鋭機器と高度な技術を結集し、高度
医療・がん医療に最善を尽くします。また、
患者さま一人ひとりのため、温もりあふれ
る円滑なチーム医療を提供します。



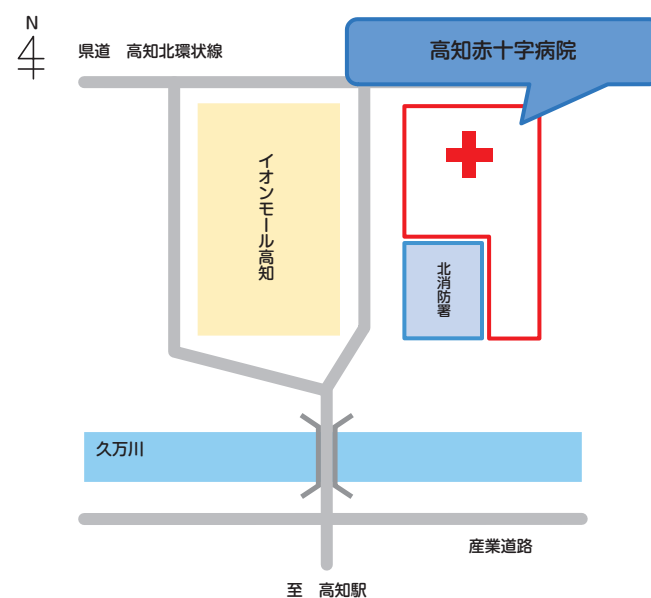
つながる
CONNECT

地域の皆さまから
愛され親しまれる病院

健診や啓発活動などの予防医療を実践する
とともに、地域医療機関との連携を図り地域
医療の質の向上に努めます。医療従事者
の育成に力を入れ、高知の未来を支えます。



あなたの意欲と 情熱を 待っています。



看護部の理念

安全で安心される看護を提供します。

あらゆる状況において人々のいのちを守り、苦痛を軽減し人としての尊厳を守る
「人道」を共通価値とした看護を提供します。

看護部長あいさつ

小松 ゆり

病を持ちながら住み慣れた場所でその人らしく暮らす、「生活者」としての患者さまを地域全体で支える「地域包括ケアシステム」の中で、急性期から在宅まで切れ目のない看護をつないでいきたいと思えます。

そのために、

- ①患者様の苦痛が感じられ、相手を慮ることのできる看護師
 - ②様々な病を持つ患者さまのニーズに対応できる知識・技術・人間力のスキルをもった看護師
 - ③人と良好な関係性が築ける看護師
 - ④あらゆる変化に柔軟に対応できる看護師
- を育成したいと考えています。

看護部目標

1. 地域包括ケアシステムの中で「生活者としての患者」を支え地域へつなぐ看護の提供
2. キャリアビジョンを描ける職場・働きやすい職場作り
3. 急性期医療を支える看護体制の強化と質の向上

施設概要

許可病床 402床
一般：372床
救命救急センター病棟：30床

救命救急センター
地域医療支援病院
急性期一般入院料1
看護方式：PNS（パートナーシップナーシングシステム）

健康管理センター
DPC 特定病院群

災害拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院（一般病院2・救急）

高知県がん診療連携推進病院

チーム医療活動

- 〈認定看護管理者〉 2名
- 〈専門看護師〉 3領域6名
・がん看護3名
- 〈認定看護師〉 10領域15名
・感染管理3名
・皮膚・排泄ケア2名
・手術看護1名
・脳卒中リハビリテーション看護1名
- 〈特定行為看護師〉 8名
・術中麻酔管理3名
・感染管理関連2名
- ・急性・重症患者看護2名
- ・在宅看護1名
- ・救急看護1名
- ・糖尿病看護1名
- ・摂食・嚥下障害看護1名
- ・血糖コントロール1名
- ・集中ケア2名
- ・がん薬物療法看護2名
- ・緩和ケア1名
- ・創傷管理関連2名

- NST(栄養サポート)
- 糖尿病チーム
- ICT(感染対策)
- 摂食・嚥下ワーキング
- 緩和ケアチーム
- 褥瘡ケアチーム
- RST(呼吸ケアサポート)
- せん妄、認知症ケアチーム
- 倫理コンサルテーションチーム
- RRT(院内迅速対応チーム)

赤十字の人材育成と継続教育

豊かな人間性を育み看護に関する幅広い能力を備え、広く社会に貢献できる人材を育成します

ひとも自分も
“大切に”

学習支援
心理的支援
業務支援

相互の関わり
対話を大切に

育成のキーは
リフレクション

キャリア開発ラダーを軸に専門職としての成長を支援してきます

	実践者	管理者	国際	教員
V	病院単位で活動できる者	管理Ⅳ	国際Ⅳ	教員Ⅳ
IV	看護部単位で活動できる者	管理Ⅲ	国際Ⅲ	教員Ⅲ
III	病棟で活動できる者 リーダー			
II	自律して看護活動ができる者（病棟内）			
I	指導や助言を得ながら看護活動ができる者			

先輩看護師からのメッセージ

令和6年度に当院の認定看護師資格取得支援制度を利用し、1年間研修施設で学びを深め、がん薬物療法看護認定看護師(B課程)を取得しました。研修の際には仕事と学習を両立できるよう勤務を配慮していただき、当院での特定行為実習の際には、看護部や看護師長、医師の方々に快く協力・サポートしていただいたため、より専門性の高い知識や技術を学ぶことができました。自身のスキルアップを支援してくれる環境が整っており、応援してくれる先輩方や仲間もいます。ぜひ一緒に働き、専門職としての成長や自身の成長に繋がっていきます。



私は産科病棟に勤務し、助産師として臨床に携わっています。助産師は妊娠・出産・産後に至るまでのライフサイクルを通して、母子および家族を支える専門職です。命の誕生というかけがいのない瞬間に立ち会い、家族としての第一歩を踏み出す大切な時期に関わらせていただくことは大きな責任と同時に深いやりがいを感じています。日々の業務は大変なことも多いですが、先輩助産師からたくさんのごと学び、自分自身も成長し続け、お母さんと赤ちゃんの寄り添った看護・助産ケアを提供していきたいと考えています。共に学び合いながら、働くことを楽しみにしています。



私は現在手術室で勤務しています。手術室では様々な診療科、症例を経験するため看護知識だけでなく、解剖生理や病態生理をより深く学ぶことができます。医師、看護師、他職種と連携を取りながら手術が安全に円滑に進めるように日々尽力しています。患者さんとの関わりは病棟勤務に比べて少ないですが、どんなに厳しい症例でも自分自身もチームの一員として全力で携わり、患者さんが無事退室されるととてもやりがいを感じます。特殊部署であり、覚えることも多いですが、一緒に勉強し、やりがいを感じながら成長していきます。



私は手術室看護師として勤務しています。手術室は病棟に比べ、患者さんと関わる時間が限られていますが、その中でも、患者さんに少しでも寄り添い、安心して安全に手術を受けていただけるよう、日々試行錯誤しながら看護を行っています。疾患や術式は同じでも、患者さんが変われば手術の流れや必要な看護も変わり、日々新しい発見をすることが出来ます。そして、その発見から得られた学びを次の患者さんに繋げていくことでよりよい看護を提供しながら、自分自身も成長することができます。一緒に働きながら、たくさん発見を通して成長していきます。

新人看護師の一年間

～同期のつながりを大切に共に成長する～

4月入職時研修

4月に入職してからは、部署に入って困らないように、病院や看護部の役割、基本的技術の研修を中心に行います。

◆おもな研修内容

PNSについて、テルモ静脈注射・採血・輸液ポンプの取扱い、赤十字の歩みと活動・国際人道法 1ヶ月の振り返りなど



5月～7月

患者様へのケアに必要な基本的な知識と技術の習得に向けて、認定看護師や部署の専任看護師が講師となり、実践重視の研修をします。急変に備えた研修も行っています。

◆おもな研修内容

安全・安心な吸引、急変に強くなる、五感を使った患者さんのアセスメント（フィジカルアセスメント）、赤十字の看護、メンバーシップ など



8月～12月

入職6ヶ月目には、同期とふれあい、同期とのつながりを深めるリフレッシュ研修を行っています。11月には技術研修の集大成である基本技術確認研修“あんなとき、こんな時、あなたならどうする”を専任実施指導者と一緒に行います。

◆おもな研修内容

褥瘡ケア、6ヶ月リフレッシュ研修（院外研修）、基本技術確認研修“あんなとき、こんな時あなたならどうする”、心電図セミナー（ベーシック） など



1月～3月

1年間の成長を皆で共有する場を持っています。「同期の頑張りも共有できた」「資料や説明を今も活かしている」「アセスメント力をつけた」「不安なことやわからないことをなくして自信をもって看護していきたい」など2年目に向けて、色々な思いを共有しています。